



小国中だより

小国町立小国中学校
令和2年10月22日
文責 八木幸夫

『手紙』 有志合唱曲

今年度、本校の文化祭は、新型コロナウイルス対応のために、例年のよりもプログラムを縮小して実施します。縮小して窮屈な日程の中でも、何か自分達の手でできることはないのか・・・、実行委員会のメンバーが考えた1つの結論が、有志合唱を今年もやろうということでした。音楽の授業が制限され、時間に余裕のない中でも、昼休みに練習して発表を目指し、全校生に参加の呼びかけが行われ、自主的な練習が進められています。

手紙 ～拝啓 15の君へ～ アンジェラ・アキ

拝啓 この手紙読んでいるあなたは どこで何をしているのだろう
15の僕には誰にも話せない 悩みの種があるのです
未来の自分に宛てて書く手紙なら
きっと素直に打ち明けられるだろう
今 負けそうで 泣きそうで 消えてしまいそうな僕は
誰の言葉を信じ歩けばいいの？
ひとつしかないこの胸が何度もばらばらに割れて
苦しい中で今を生きている
今を生きている

拝啓 ありがとう 15のあなたに伝えたい事があるのです
自分とは何でどこへ向かうべきか 問い続けられれば見えてくる
荒れた青春の海は厳しいけれど
明日の岸边へと 夢の舟よ進め
今 負けないで 泣かないで 消えてしまいそうな時は
自分の声を信じ歩けばいいの
大人の僕も傷ついて眠れない夜はあるけど
苦くて甘い今を生きている

人生の全てに意味があるから 恐れずにあなたの夢を育てて
Keep on believing
負けそうで 泣きそうで 消えてしまいそうな僕は
誰の言葉を神事歩けばいいの？
ああ 負けないで 泣かないで 消えてしまいそうな時は
自分の声を信じ歩けばいいの
いつの時代も悲しみを避けては通れないけれど
笑顔を見せて 今を生きていこう
今を生きていこう

拝啓 この手紙読んでいるあなたが
幸せな事を願います

有志合唱の曲目は「手紙～
15の君へ～」です。

「拝啓 この手紙読んでいるあ
なたは～」で始まるこの歌詞。15
歳の自分から30歳の自分に向
けて書いた手紙です。15歳の自
分未来の自分に対して、今が
辛い、苦しい、泣きそうだ、どうし
たらいいのか、何を信じればい
いのか、と語りかけます。

そして30歳の自分は、そんな
15歳の自分に「拝啓 ありがとう
15のあなたに伝えたい事がある
のです」と手紙で答えます。自分
と向き合いなさい、自分自身を
信じればいい、迷いや苦しみに
も全てに意味があるんだよ、恐れ
ずに進もうと語りかけます。

かつての15歳、きっとこたえ
てくれる人はいなかったであろう
15歳の自分。でも色々迷いな
がらもつまづきながらも内なる
声を信じて進んだ自分。

そして気がつけば30歳。振り
向けば確かな道ができていた。
良かった、信じた道を進んで。自
分自身を信じなさい、恐れずに
夢に向かって進みなさい。

自分自身の弱さを見つめなが
らも、自分を鼓舞する歌です。

温かなあいさつを

○あいさつは、相手を大切に思う気持ちを伝えます。

○あいさつは、けじめややる気を高めます。

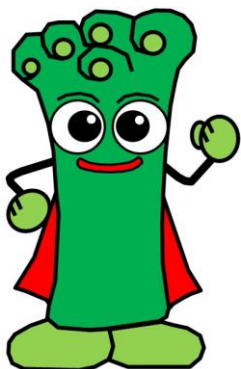
○小国中生の元気なあいさつは、小国町を元気にします。

いつでも

どこでも

誰とでも

元気にあいさつ



生徒会では活動の3本柱の1つに「あいさつ」の活性化をあげ、年間を通して元気で温かなあいさつの励行をよびかけています。執行部のあいさつ担当が、生活委員会が、各学年自治会が様々な取り組みを企画実践しています。

現在、執行部は3つの段階を設定したあいさつ運動を推進しており、現在は2つめの段階として、大きな声での元気の良いあいさつを奨励しています。朝、登校時に生徒玄関前に設定した場所で、大きな声でのあいさつを行ってもらおうという取り組みです。

生活委員会は「フレンドリーあいさつ週間」として、朝教室に入る際に「おはよう！」と大きな声であいさつをすること、「〇〇君、おはよう」「〇〇さん、おはよう」と名前を呼び、あいさつする相手意識を大切にしたいあいさつの取り組みを進めています。

「 いってらっしゃい 子のやさしさで エンジン始動 」

「 おはようの その一言で 子に感謝 」

「 ただいまの 元気な声に ひと安心 」

小中高校生の保護者を対象に、子どもさんとの関わりを題材にした川柳を募集したイベントがありました。上記の川柳は投稿された川柳の一部です。我が子の何気ないあいさつから勇気とやる気もらったお父さん、お母さんの思いや様子が伝わってきます。また、学校のことをあまり語らなくなった我が子の元気のよい「ただいま」の声に、楽しい学校生活を推測し、安心する親心があたたかく伝わってきます。

君達のあいさつには、家族を元気にする力、地域の人たちに勇気を与える魔法の力があります。校内だけでなく、家庭でも、地域でも元気の良い爽やかなあいさつを大事にして欲しいと思います。

1年生男子バレー部デビュー戦

10月17日（土）、男子バレー部1年生5名が初の練習試合に臨みました。3年生の引退後、メンバー不足で新人大会に参加することができませんでしたが、この日は1年生5名にサポートメンバーとして3年生も加わって沖郷中学校との試合に臨みました。6セットマッチを4-2で勝利したとのことです。



男子バレー部は来年3月での活動停止が決定していますが、1年生部員5名が熱心に活動を続けています。11月1日（日）には、エキシビジョンマッチではありますが、マツキ杯バレー大会にも参加の予定です。今できることを精一杯やり切りたいと思います。

